

# 令和5年度 地理歴史探究 シラバス

【単位数：2単位 履修年次：4年次選択科目】

## 1 学習の到達目標等

<p>学習の到達目標</p>	<p>1 地理歴史に関わる様々な問題に興味関心を持ち、その特徴を正しく理解できる                  2 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。                  3 学び直しという観点で、2年次に履修した「地理A」・3年次に履修した「世界史A」の学びを深める。</p>
<p>使用教科書 副教材等</p>	<p>特になし 適宜プリントや資料を配付して授業を進める。</p>

## 2 学習計画および評価方法等

### (1) 学習計画など

学期	月	学習内容	学習のねらい
前期	4	オリエンテーション	
		原始時代 ○人類のはじまり ○文明のおこり ○縄文・弥生時代の暮らし ○古墳の時代から飛鳥の都へ	文明のはじまりは大河の近くであることを理解する。 奈良や京の都において天皇中心の中央集権国家を目指していたことを理解する。その際、東アジア、特に中国との関係に留意する。
	5	○律令国家のしくみと平城京遷都 ○平安京の貴族 ○天平文化と国風文化	
		中世 ○院政と平氏の台頭 ○武家政権の誕生 ○幕府のおとろえと鎌倉新仏教	武士の台頭から武士政権樹立までの流れを理解する。 鎌倉時代と室町時代の違いを理解する。その際、天皇の権威を否定していないことに留意する。
	6	○室町幕府の成立 ○室町時代とその文化	
		近世 ○ヨーロッパ人の来航と天下統一 ○江戸幕府の仕組み ○江戸初期の外交と民衆の活動 ○幕府の改革	ヨーロッパ人の来航（鉄砲伝来・キリスト教伝来）が日本にどのような影響を与えたのか理解する。 江戸幕府が270年近く日本を支配できた仕組みを理解し、現代の日本人の考え方をつくりあげたともいえる、江戸の社会や文化を学ぶ。
	7	○江戸時代の文化	
		近・現代 ○欧米の近代化とアジアの植民地化 ○幕末の動乱と明治維新	開国を果たした日本が、どのように先進国の仲間入りを果たしたのか理解する。 二つの世界大戦に日本がどのように関わったのか理解する。また、戦争に敗北した日本がどのように復興を遂げたのかも併せて理解する。
	8	○文明国をめざして ○一等国への道	
9	○明治の文化 ○第一次世界大戦と大正デモクラシ		

前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第二次世界大戦と日本</li> <li>○太平洋戦争と戦後の日本</li> <li>○冷たい戦争と日本の独立</li> <li>○現代の日本</li> </ul>	
<p>【課題・提出物等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業ごとのプリント提出（確認して返却）</li> <li>2 定期考査ごとにプリントをつづったファイルを提出。</li> <li>3 必要に応じて、課題を提出させる場合があります。（夏休みの課題等）</li> </ol>		
<p>【前期の評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中間・期末考査の成績、プリントファイルの提出物および、授業への参加意欲や態度で評価。</li> <li>2 学期全体の評価は定期考査 6 割程度、提出物・参加態度などで 4 割の配分で行い、総合的に評価します。</li> </ol>		
後期	<p>10 世界のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地球の姿を見に行こう</li> <li>○緯度と経度で表そう</li> <li>○世界の州と場所をおさえよう</li> <li>○世界の気候をおさえよう</li> <li>○世界の暮らしをおさえよう</li> <li>○雨音図を読み取ろう</li> <li>○世界の宗教の特色を知ろう</li> </ul> <p>世界の諸地域</p> <p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中国とインドをおさえよう</li> <li>○アジアの諸地域をおさえよう</li> <li>○ヨーロッパをおさえよう</li> <li>○EUの特色をおさえよう</li> <li>○アフリカをおさえよう</li> <li>○北アメリカの自然と農業をおさえよう</li> <li>○北アメリカの工業をおさえよう</li> <li>○北アメリカの暮らしをおさえよう</li> <li>○南アメリカをおさえよう</li> <li>○オセアニアをおさえよう</li> </ul> <p>日本のすがた</p> <p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の位置と領域を知ろう</li> <li>○時差のしくみを知ろう</li> <li>○日本の地域の分け方を知ろう</li> </ul> <p>世界から見た日本</p> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の地形をおさえよう</li> <li>○日本の山地と海岸をおさえよう</li> <li>○日本の川と平野をおさえよう</li> <li>○日本の気候をおさえよう</li> <li>○日本の災害と防災をおさえよう</li> <li>○日本の人口と課題をおさえよう</li> <li>○資源とエネルギーを知ろう</li> <li>○日本の農業をおさえよう</li> <li>○日本の工業をおさえよう</li> </ul>	<p>地球を平面上に表した世界地図は、不正確な部分があることを理解し、状況に応じた世界地図を使えるようにする。 世界の人々の日常生活に大きな影響を与えている要素（気候・宗教など）を理解する。</p> <p>世界の各地域の自然や産業、生活文化を理解しながら、日本との関係を学ぶ。</p> <p>日本の国の範囲や地域の分け方、時差を理解し、日本を知る足がかりとする。</p> <p>日本の自然・気候・鉱工業・課題を学ぶことで、世界の国々と日本との共通点や相違点を理解する。</p>

2	<p>日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○九州地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○中国・四国地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○近畿地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○中部地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○関東地方の自然と産業をおさえよう</li> </ul>	日本の各地域の自然や産業を学ぶことで、日本の地域差を理解する。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東北地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○北海道地方の自然と産業をおさえよう</li> <li>○地形図を読み取ろう</li> </ul>	

**【課題・提出物等】**

- 1 授業ごとのプリント提出（確認して返却）
- 2 定期考査ごとにプリントをつづったファイルを提出。
- 3 必要に応じて、課題を提出させる場合があります。

**【後期の評価方法】**

- 1 中間・期末考査の成績、プリントファイルの提出物および、授業への参加意欲や態度で評価します。
- 2 学期全体の評価は定期考査6割程度、提出物・参加態度などで4割の配分で行い、総合的に評価します。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一生懸命最後までやろうと努力する意欲や態度がみられるか。</li> <li>・ 現代社会に対する関心を高めているか。</li> <li>・ 意欲的に課題を追求するとともに、現代社会の学習を通じて、国民としての責任を果たそうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での態度</li> <li>・ 授業で使用するプリント</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会関する基本的な事項や日本人としての在り方・生き方を我が国を取り巻く国際環境などと関連づけて主体的に理解し、その知識を身につけているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前期中間考査</li> <li>・ 前期期末考査</li> <li>・ 後期中間考査</li> <li>・ 後期期末考査</li> </ul>